

# ヤマハニュース4

YAMAHA NEWS NO.346 1992

特集●粋に乗りこなす! ————— 2

## クォーターバイクが魅力的

列島ぐるり●こんにちはヤマハ紀行③ ———— 10

### 南紀海岸

黒潮あろう海べりの町は  
日本のモーターサイクル王国

NEW MODEL●新登場! トラディショナルVツイン ———— 17

## SRV250 スペシャル バージョン SEROW225S

クオリティアップ ZeaL/TZR250RS/Mint SD





特集 粋に乗りこなす!

# クォーターバイクが魅力的

桜前線がシフトアップしスピードを速めています。お客さまの活動も一気に活発化し、いよいよお店の真価を発揮するときです。

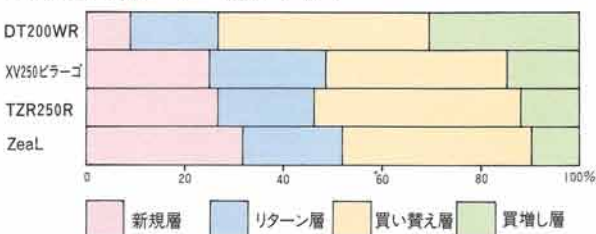
今春新登場のSRV250に代表される軽二輪モーターサイクルはスーパースポーツモデル、スポーツモデル、オン・オフモデル、アメリカン、スクーター…と、その商品カテゴリーの豊富さで市場をしっかり支えています。そして、この細分化されたカテゴリーに伴うお客さまのバイクライフもまた百花繚乱、様々なスタイルが形成されています。こうした市場特性から「つかみどころがない」といった声も聞かれますが、裏返せば掘り起こし次第で、さらに有力な需要ゾーンに位置づけられる市場でもあるわけです。今号は、軽二輪市場活性へのヒントとして、お客さまの動向と販売店活動を探ってみました。



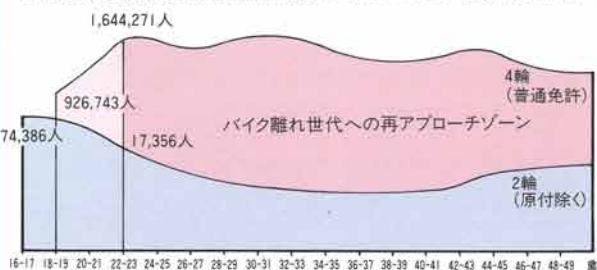


# ゆとりりのバイクライフに ジャストサイズ250!!

■主なモデル別ユーザー動向(ヤマハ調べ)



■年齢別・種類別運転免許保有者数('91年12月末現在 警察庁交通局調べ)



「なぜ、いまクォーター？」

## まずはクォーター派 新規

やっぱり初めは250CCがいい。  
大きなバイクも魅力あるけど  
少し不安もありますから……。

実は1カ月前に免許を取ったばかりで、今日が納車なんです。通学のために免許を取ったんですけど、ツーリングにも行きたいですね。

高校の時の友達にバイクの好きな連中がいて、よくレースのこととかニューモデルの話で盛り上がってます。そういう時間って本当に楽しいものなんです。これからは僕もやっぱバイクに乗れるんで、また楽しみが増えますね。

(山本恭さん・18歳・大学生・歴なし)

楽しく遊べて経済性も高い。  
しかも実用的で、  
本当にいいことばっかり。

僕は2年前からFZR250Rに乗ってますけど、心の底からいい相棒だなんて思ってます。

憧れとしてはVMAX1200なんかいいと思いますが、車検とか燃費を考えたら、やっぱり250がジャストサイズ。ツーリングにもよく行くんですけど、本当に燃費がいいんですよね。

速いし乗りやすい、しかも渋滞知らずとなれば、まったく文句はありません!!

(常田崇さん・18歳・大学生・歴2年)

# 2台目はクォーター派 増車

僕の場合、DT200WRは趣味の道具ってとこかな。スキーの板やテニスのラケットと同じ感覚なんですよ。

ツーリングとか街乗りはね、もっぱらFZ R400RRを使っています。どちらかというとクルマの代わりというか、移動するための手段というイメージですね。

逆にDTの方はというと、会員制のオフロードコースで日曜日に汗を流すための道具ですね。「なんで2台も持ってるの」ってよく聞かれますけど、僕にとっては2台とも使い方が違うんです。

維持費ですか？ 結構かかりますけど、クルマを1台持つよりはるかに安いんじゃないですか。欲を言えばクルマを持ってたら最高だけど、それはちよっと無理ですからね。クルマ1台とバイク2台を天秤にかけて、僕はバイクを選んだわけです。

400cc2台は辛いけど、プラス軽い輪なら、こんな状況も許されるんです。

(伊藤秀明さん・22歳・会社員・歴4年)



FZ750も持っているんですけど最近ではDT200WRに乗る機会の方が多いですね。

FZ750が1台のときはチョイ乗りからロングツーリングまでこなしてたんですけど、「オフって面白そうだな」と思ってDT200WRを買ってからは、ロングツーリング以外はもっぱら「こっち」を使っています。林道ツーリングとかエンデューロレースなど、遊びを目的に買ったんですけど、機動性とかやっぱり扱いやすいですから、普段もつい乗っちゃってます。

といってもFZ750は手離せませんよ。帰省ツーリングなどはやっぱり大排気量車がラクですからね。年に数回の話なんですけどDT200WRは車検もないし、2台持つのもそれほど苦労しないですから。

(永井肖さん・22歳・会社員・歴6年)

## 軽二輪ライダーに聞きました

本当は125ccがジャストサイズなんですけど仲間と一緒に高速道路を走れないでしょ。だから250ccを選んだんです。

私は目覚めたのが結構遅くて、免許を取ったのが25歳の時。このZeealは2台目で、その前に乗っていたのも250ccです。

いまは女性でも限定解除する人がたくさんいますでしょ。私もできることなら大きなバイクに乗りたいたいと思いますけど、経済的には少し負担になるような気がしています。それだけでなくオシヤレや旅行にもお金がかかりますから、バイクの楽しみと必要な費用を較べたら、やっぱり250ccにするのが一番上手な(バイクとの)付き合い方かな、って思いますね。

(土橋かおりさん・28歳・OL・歴3年)

# またまたクォーター派 代替

400ccクラスって、意外と高くつくんですけどね。車検もネックだし、でも250ccなら諸経費も安いし、本体価格も手頃ですから。

だから免許を取って最初に乗ったバイクがR1-Z。発売された頃に購入したんです。今乗っているのはDT200WR。これも納車は発売間もない頃だったと思います。R1-Zに乗っていたときも思ってたんですが、250ccクラスって車体もパワーも手頃で、乗っていて楽しいと思います。オフロード車にも大きい排気量のものがありますが、ツーリングにしてもエンデューロレースにしてもジャストサイズですよ。

(武藤伸一さん・26歳・会社員・歴1年6ヶ月)



楽しみを感じてもらおうキッカケは、同店でもやはりツーリングが主体。ツーリングをキッカケに増車したお客さまも多い

『YSP金沢文庫』さんには、4年前にオープンしてから一貫してつらぬいてきたコンセプトがある。

モーターサイクルは趣味の道具である。しかも高額なホビーだ。豊かな時代といえどもやはりおのずとターゲットは絞られてくる。その層にモーターサイクルの楽しさをアピールすることで、効率よくお客さまを掴んでいこうと考えたわけだ。同店のお客さまに『独身貴族』が多いのは、こうしたお店の考えがあるからだろう。

しかし昨年あたりからだろうか、少しずつ市場が変わってきた、と吉江社長は

「う人がいる」というのも、こうした流れが原因なのだろう。

「だけど、こんなにたくさんさんの遊びがある世の中で、やっぱりバイク一筋という人もいる。楽しさと出会えるチャンスを作ってあげさえすれば、みんな感じられることなんですから……。それを感じてもらうための材料として、2500ccクラスはピッタリだと思っんですよね。お客さんにステップアップしてもらった過程としても、欠かせないクラスです」

しかし冷静に市場を見渡した時、果たしてお客さまは、吉江社長と同じように2500ccクラスを見ているのだろうか。一概にはそうとも言えないのが現実のよ

語る。

「本当はもっと前から始まっていたんでしようけど、昨年からは特に、お客さんの趣味の広がりを感じます。夏になればマリンスポーツ、冬になったらスキー、その間にちょっとツーリングみたいなね。バイクに乗る回数が減っているとか、バイクに費やすお小遣いが減るとか、もちろんウチのお客さんの中にもそういう方がいます」

モーターサイクルに乗る時間が短くなる、当然楽しさや喜びを発見するチャンスも少なくなる。よく聞く「本当の面白さを感じる前にバイクをやめてしま

## 「あなたのバイクライフにもう一台」——使い分けのプレゼンテーションで勝負 YSP金沢文庫さん(神奈川県横浜市/吉江仁美社長)

うだ。

「排気量に関係なく、車種で選ぶ傾向がある」「保険料の引き下げなどによって、2500ccの割安感が薄れている」というような言葉が、吉江社長の口からもポンポンと飛び出してきた。「2500ccの魅力をもう一度アピールする時期に来るのは確かだけれども、そのためにはいままでと同じような提案の仕方ではダメ。新たなアプローチの方法を考えないと」とも言う。

それでは、新たなアプローチというのは、どのようなものなのか。入門用としてのクォーター、ステップアップの過程としてのクォーター、コストパフォーマンス

# ひとり2台の新時代!! 「増車」で広がる遊びのフィールド

■YSP金沢文庫 神奈川県横浜市金沢区谷津町167

- 立地：京浜急行・金沢文庫駅から徒歩5分、国道16号線沿いに立地
- 商圏：国道16号線に沿って南北に細長くカバーする
- 客層：大学生、独身社会人が中心。平均24歳前後。女性客も多い
- 告知活動：『月刊レディスバイク』他

「遊びのバリエーションが広がっているのは、バイク一筋のお客さんだっただけだと思っただけです。少し前まではレプリカの人やワインディング、テイスティの人はツーリングというように、車種で遊び方が明確に分かれていたじゃないですか。」

ところがいまは違っています。エンデュロレースのブームもあると思うんですけど、レプリカモデルにD T 200WRの増車というケースがたくさんあります。バイクライフのスタイルに合わせて、バイクを使い分けようとする動きですね。軽二輪は経済性の面でもそれが可能なクラスなんです。」

街乗り用十ツーリング用、レース用十通勤用、もっと言えば四輪十二輪、スク

ーター十スポーツという考え方もあるかもしれない。ひと口に増車と言っても、想定できるパターンは無数に広がる。

「もうひとつ、カム・バック女性ライダーというセンもありますね。車格や費用を考えると、女性のジャストサイズは125、もしくは250cc。'80年代後半の女性ライダーブームを作れたら、市場全体の活性化にもつながると思います。」

社長ご自身が女性というお店のキャラクターもあるのだろう。同店のお客さんには、たくさん女性のライダーがいる。

「少なくとも」と言われる中で、現在でも新車スポーツの販売全体の約17%を女性客が占めている。もちろんそのほとんどが250ccクラスを選んでる。

女性ライダーが急増したのは、まだ5、6年前の話である。しかし一方で女性には流行に敏感なため、他の遊びに流れてしまいうのも早かった。『YSP金沢文庫』さんに当時と同じくらしい女性客が残っ

Second  
BIKE

ているのは、乗り始めたあとのフォローが行き届いていたからだろう。

「いまでも『月刊レディスバイク』には広告を入れ続けています。女性は男性よりも入れ込みやすいから、それなりの効果はありますね。オシヤレの一部としてバイクをとらえていた人も、本来の楽しさを知る機会さえあえてあげられたら、何歳になっても乗り続けてくれるんです。中には限定解除をしようとする人だっているくらいですからね。」

新規客はもちろん、増車と女性への再アプローチで軽二輪の拡販を図る『YSP金沢文庫』さん。あとは店頭にSRV250が並ぶのを待つばかりだ。



『月刊レディスバイク』の担当者と入念な打ち合わせをする吉江社長(左)。250ccクラスの商品情報が広告の骨子となっている

# 豊富な車種揃えと丁寧な接客対応で 来店客を効率よくキャッチ!

■YSP大阪北 大阪府寝屋川市初町2-8

- 立地：大阪のベッドタウン寝屋川市の、駅から徒歩5分ほど。八尾一枚方線と外環状線という幹線道路の合流点にある
- 商圏：スポーツ車ユーザーは、地元の住宅街から幹線道路沿い広く分散
- 客層：スポーツ車ユーザーは、社会人と学生が約半々。20代～30代中心
- 告知活動：DMやチラシを月に1回+α



購入動機や用途が明確化し  
車種選択の幅はさらに拡大

『YSP大阪北』さんは、年間の新車販売台数800台を超える大型店。スポーツ車がその25%、さらにその60%を250ccクラスつまり軽二輪が占めている。

「車検がなく、車両価格も比較的手頃で買やすいし、車格、重量の点で扱いやすいから初心者やリターン層の需要が大きい。バイクの全体需要が減ったといわれるなかで、やはり軽二輪はポリュームゾーンですね」と辻社長。

また、趣味性の強いスポーツ車とはいえ、このあたりではクルマの駐車場不足から、通勤、通学の足として軽二輪を買う人も多いのだという。

「購入動機が、ブームの時みたいに友達に乗っているからとか希薄なものでなく、ツーリングしたり、通勤に必要、とかかなり明確になっているし、単純にデザインや色の好みも以前に増して多様化しています。だからその分、車種選択の範囲もレブリカからネイキッド、オフロード、アメリカンまでいろいろだし、同じレブリカでもエンジン型式やカラーリングまで細かく分かれるんです。」



人気車種だけにかかわらずでできるだけ豊富なバリエーションを見せる。レブリカ車も、若者を中心に人気車のひとつ

そこで、辻社長は敷地面積200坪という大型店のメリットをフルに活用。現行車種なら全てのモデルとカラーバリエーションを揃え、年式の古いものまで可能ながきり豊富な展示を行なっている。

来店者の顧客化を促す  
人、モノの総合力

集客には、立地の良さが最大の武器となる。大阪のベッドタウン寝屋川市の中心、幹線道路に面する大型店ということ、お店の知名度が高く、来店者数も多い。

「それでも、ただ店で待つてればどんどど  
ますます多様化するお客さまの用途、好みに100%応える店づくりをめざす  
YSP大阪北さん(大阪府寝屋川市)辻繁夫社長」

「お客さんが買ってくれた時とは状況が全く違うし、来店者数もかなり減ってます。だから、今一番力を入れているのが、どうすれば最も効率よく来店者を顧客化できるか、ということ。10人来店すれば5人より6人、6人より7人と獲得数を増やせるようにね」と話す。

そのために、自分の好みの1台を必ず見つけてもらえる豊富な車両在庫を持ち、そしてヘルメットなど用品、部品コーナーもワンフロア設定した。さらに、サービス技術の面でも、いち早く認証工場の資格を取り、社長自身2級整備士であるほか、3名のサービスタップも全員3級の資格を持っている。



その車種担当のスタッフが、プロらしい正確で豊富な知識と体験で丁寧接客する

「お客さんに、あの店なら何でも揃うし何でもできると言われるようにしたいですね」

しかし、大きいだけの冷たい店では魅力が半減してしまう。店のスタッフの教育にも辻社長は気を配る。

「例えば接客。基本的なことですが、挨拶やお客さんへの商品説明などは、親切丁寧、明確に行なうよう心がけています。」

特に商品知識に関しては、ひとり2、3車種を完璧に把握させ、聞かれたことはその担当者がすべて答えられるようにしています。プロですかね」

人間的な魅力とプロらしい知識、態度が、お店の総合力を高めているのだ。

**Variety**



# 「楽しさとセットで！」 これがうちのオフロード軽二輪の売り方



■YSP柏中央 千葉県柏市松ヶ崎1157-7

- 立地：国道16号線沿いに立地。国道6号線との交差点から、また常磐道、柏ICからほど近い
- 商圏：国道6号、16号沿いに、北は茨城県取手市から、柏、我孫子、流山の各市、広範囲をフォロー
- 客層：大学生から30代前後の社会人が中心
- 告知活動：オフロード専門誌広告



ハード、ソフトともにオフロード色が濃いショールーム

活動しただいで  
お客さまはついてくる

数年前「YSP柏中央」さんのショールームや駐車場はビッグバイクで賑わっていた。店長代理でバイク部門の責任者である田中端生さん自らが大型バイクに乗り、ツーリング活動を積極的に推進した結果だった。

「中型免許のお客さんも、ビッグバイクツーリングに参加するため、限定解除にチャレンジしてましたね」と話す田中さん。しかしブームとも呼べそうな盛り上がりは落ちつかないうちに、次のターゲットは決まっていたという。経済的に余裕のあるビッグバイクユーザーの買い増しを狙った軽二輪の拡販だ。

きっかけは、やはり田中さん自身だった。オンロード指向の田中さんがある機会にオフロード走行を体験。「これは面白い」と思い、まずはスタッフにその楽しさを伝えた。そして、コース走行や林道ツーリングに誘い、スタッフをオビニオンライダーとなるファンに育てた。

「お客さんを動かすには、まず店がしっ

かりした受け皿をつくっておかないと、途中で息ぎれしてしまいますからね」

それまでオンロードに乗っていたスタッフや、セローやDT200WRに乗り、店内のディスプレイはオフロードが中心となった。用品もアウトドア関係のものが充実してきた。

「ビッグバイクのユーザーは、やっぱり最初はとまどいを見せてましたね。店から離れてしまった人も、残念ですけどいきました。でもほとんどのお客さんは、何らかの形でオフロードに接し、店を理解してくれたようです。店がしっかり動けば、お客さんはついてきてくれるんですよ」

## お客さまを育てながらクォーターバイクワールド拡大に取り組み YSP柏中央さん千葉県柏市／田中端生店長代理

拡販策は「楽しませること」

「YSP柏中央さんでは、大きく分けて三つのイベントを開催している。コースを借り切ったの走行会、林道ツーリング、そしてエンデュロレースへの参加と、お客さまが自分のレベルや好みに合わせて選べるようになっていた。特にオフロード走行会は、オフロード車を持たない見込客の参加を積極的に呼びかけている。

その呼びかけるときに有効なキッカケになるのが、店内のモニターに流し続ける自店イベントの記録ビデオ。



ビデオは新規ユーザーへの説得材料になるとともに、参加者へのフォローにもなる

「いきなり声をかけるより、ビデオを見ながらの方が相手を引き込みやすい。少しでも興味のある人には、とにかく乗ってもらうことが最大のセールストークです」

走行会で楽しさを知ってもらい、林道ツーリングやエンデュロレースでユーザーを育てる。毎週のようにイベントを開催することはショップにとってハードだが、これはスタッフがオフロードの楽しさを知っているからこそできるのだらう。オフロードをショップとお客さまと一緒に楽しむ明るい雰囲気、新たなユーザーを誘い込んでいるようだった。

# Enjoyment



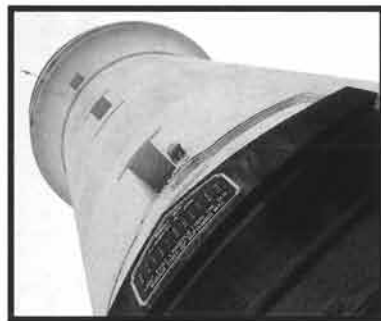
列島ぐるり

こんにちはヤマハ旅行

# 南紀海岸

## 黒潮あらう海べりの町は 日本のモーターサイクル王国

本州最南端、太平洋に面する紀伊半島南部は、和歌山県全域を中心に、「南紀」と呼ばれる南国、観光の名所である。そして「南紀」は、絶好のツーリングポイントを数多く有している。また、和歌山はモーターサイクルの普及率全国一を誇る県でもある。今回は、そんな南紀の海岸線の町々を訪ねてみた。



## 熊野詣での旅路を分かつ 田辺はモーターサイクルの町

『南紀』は、平安の昔から熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社の熊野三宮を巡る『熊野詣で』で知られる観光の名所である。今こそ、和歌山全県を中心に、一部奈良や三重の両県まで含めて広く南紀と呼ぶが、もともとは熊野詣での主な道筋となった内陸山間ルート『中辺路』周辺以南を指したものでらしい。

熊野詣でルートには、もうひとつ、海岸沿いを串本経由で回る『大辺路』があり、それ

ぞれ「蟻の熊野詣で」といわれるほど多くの人々が往き来し、その沿道をはじめ随所に観光地が発展していったのだ。

京の都を出発した旅人は、一路大阪から紀伊半島西側を海伝いに南下、現在の和歌山県田辺市『牟婁の津』で中辺路が大辺路へと分かれた。

そのため、田辺の町は平安時代から交通の要衝となり、江戸時代には紀州藩執政家老・安藤家の城下町として栄えた。

今回、南紀を巡るにあたって、田辺こそびつたりの起点といえるだろう。

また、モーターサイクル(以下MC)の世帯



偶然見つけた奇妙な形の岩島。白浜のシンボル『円月島』。だとは後で知った



周囲と同じ、古めかしい屋敷のひとつ『南方熊楠』。旧宅は、今も人の棲家として残る



普及率89・6%で全国平均を2倍上回る和歌山県にあって、田辺市は実に120%を記録しているという。鹿児島、国分、尾道と、これまでに見てきた町も随分MCの多いところだったが、ここは本当にケタはずれの町である。

そこで、まずは田辺市内の情報に明るいと聞く『YOU SHOP』な『さん』をお訪ねし、このあたりの事情からうかがってみることにした。

「ここは、平地なんてほとんどないでしょう。それに、交通手段もJRとバスくらい。どうしても買い物とかちょっとした用足しには自分の足が必要なんです。

最初は自転車。次にビジネス用のメイト、そしてスクーター。最近では軽自動車が増えてきましたね。人間、生来がナマケモノだからラクなほう、ラクなほうへと流れちゃうんだね」と中社長。

昔の城下町らしい名残りをとどめる市街地は、小路が多く、一方通行も少なくないが、ほとんどは「二輪を除く」である。

まして幹線道路も多くは片側一車線。山間部に入れば、すれ違うことさえギリギリの細道ばかり。自転車よりラクでクルマより便利なMCは、多少減ったというものの、まだまだ



田辺にはあちこちに一方通行の狭い道があるが、ほとんど「二輪を除く」の標識が

だ「一家に一台」の必需品なのである。そんな話を聞いたあと、さっそくジールで町に出てみた。

なるほど歩く人の姿よりMCで走る姿のほうがよく目につく。ほとんどはスクーターかビジネス車だ。

武蔵坊弁慶の生まれ故郷らしく立派な銅像の立つJR田辺駅前から、屋敷町という町表示につられ、クルマ一台分ほどの小路が細かく入り組む住宅地へ入る。

ところどころに、木造りの門と塀に囲まれた旧家や白壁の蔵が立ち並び、その間の辻々をMCが軽やかに、まるで計ったような一定間隔で駆け抜けていく。ここでは、歩く人影をついに見ることはなかった。

そこにジールを停めてじっと佇んでいると、自分だけが違う時間のなかにいる不思議な錯覚に襲われ、あわててジールにまたがった自分が妙におかしかった。



## 大辺路ルート最初の町は 出湯の里・白浜

さて、田辺を出て目指すのは、熊野三社のひとつつ速玉大社のある新宮市である。ここから取るべき道は2つ。白浜の手前から山間へ入り、国道311号線で川湯温泉、熊野本宮を通って168号で新宮へ出る。『中辺路』と、白浜、串本、勝浦、新宮に至る国道42号線、いわゆる『大辺路』だ。

どちらもMCで走るには最高のワインディングロードであり、その間の観光ポイントも豊富で随分迷うところだ。この際、本州最南端・湖岬を見ておきたいと思って大辺路に決めたが、実のところ、山より海側が暖かいだろうとの読みもあった。

ともあれ、田辺と新宮は中辺路と大辺路が分岐、集合する町である。できることなら、どちらか起点とするにせよ、一周してみれば値はある。片道100〜120kmずつの道のりで、つぶさに見て走れば片道1日がかりのコース。十分楽しめるはずだ。

大阪・京都・名古屋方面からのアクセスルートは、いくつもある。その途中はまたさまざまな温泉、観光地が豊富で道路の舗装も行き届いているという。東京からなら勝浦までフェリーも就航しているので、それを利用するといいたろう。1泊などといわず、どうせなら3泊、4日がかりでゆっくりと旅してみたいところだ。

そんなわけで、まず、田辺からすぐ隣の白浜へ向う。温泉の町『南紀白浜』としてつとに有名である。国道から外れ、海岸線つたいに走ると、大小さまざまな湯の宿が林立する温泉郷があり、最近ではゴルフ場やアドベンチャーワールドなど遊興施設も増えている。

オフシーズンのウィークデーだったことから、観光客の数はかなりまばらだったが、数台のツーリンググループとすれ違った。どこから来たのかはわからないが、暖かな日差しを浴びてのんびり走る彼らは大学生だろうか。自分も卒業間際の春休み、伊豆を2日かけて回った時のことを思い出した。

## 峠と港が連続する海への町 走りすぎるには惜しかった

再び国道42号線に合流し、さらに串本をめざす。海岸線をずっと平行に走り、峠をいくつも越えるつづら折りの道である。

峠と峠の間ごとに、小さな入江があつて、風景は5分ごとに変化していく。白浜から串本までおよそ70km。コーナーの連続で、緊張感があるから、少しバイクから遠のき気味だった体にはこたえる。ともかく湖岬まではと頑張った。

岬からは、太平洋が一望だ。地球は丸いと誰もが改めて実感する水平線の輝きを見ながら、凝り固まった体を伸ばす。ちよつと冷たい潮風を胸いっぱい吸いっばいに吸い込んで疲れをいやした。

古代捕鯨の里、太地町は、串本からさらに国道を30kmほど進んだところにある。無論、今は体長約5〜6mのゴンドウ鯨やツチ鯨など小型のものばかり、それぞれ8〜10頭ずつ捕ることが許されているにすぎず、かつて南氷の海で勇壮な漁を行なった大型キャッチャーボートも今はない。くじら浜公園のなかに陸揚げされ、資料館としてその歴史を伝えるのみである。

赤銅色の顔に深いシワを刻んだ浜の古い漁師が「もう大きな船にや乗れねえよ」と、ひとこと重い口を開いた。瞬間、返すことばを失



参拝に行く、というよりは登山のつもりでなければ神倉神社にはたどりつけない



心づくしの郷土料理とおしゃべりで迎えられた『YOU SHOP コジマ』さん



他社のシェアが大きい田辺市で、ヤマハ車をじっくり売り続ける信頼の店『YOU SHOP なか』さん

って、気軽な気持ちで話かけた自分の軽率さを悔い、早々に立ち去るしかなかった。

## 地元のライダーさえ魅了する 紀の山、海は宝がいっぱい

いろいろな道草をしながらの旅で、ようやくその日の最終目的地、新宮市へたどり着いたのは、すでに日も落ちた6時すぎである。「たいしたものないけど、郷土の味を用意しとくよ」との嬉しいお誘いをいただいた『YOU SHOP コジマ』さんに、約束の時間から30分ほど遅れて到着。失礼を詫びながら中へ入ると、思いがけなく大勢のお客さんに迎えられる。

「待ってたよ、疲れたろう。さあ席に着いて」と児島社長にすめられるまま、まずみんな乾杯。さっそく宴会に突入してしまった。

集まっていたいただいたお客さんは計13人。全員がスポーツ車のライダーで、学生さんあり会社員あり郵便局の制服姿ありと、プロフィールは実にさまざま。林業、木材の町らしく木工店を営む人もいる。

年齢や立場の差などおさまらない。全員が和気あいあいと、賑やかに盛り上がった。

そんななか、楽しい話もいろいろ飛び出す。例えば「クラブ・ワイフ・ティーズ」の存在だ。児島社長が自らGT50「ミニトレ」をレストアして乗り回していたのがきっかけでできた「50年代の50ccバイク愛好会のこと」である。現在、会員15名、GT50と80、RD50などがその中心。

しかし、50ではそう遠くへも行けないでしょう、と言うと「遠くへ行かなくていい、このへんは遊び場所はたくさんあるからね」と至って涼しい顔。SRX600など中型、大型車に乗る人たちも、取って遠出をしようと

しないばかりか、GT50を買い増す人もいる。「そのジール、オレのミニトレと交換してやつからクラブに入れよ」などとブツソウなお誘いもあった。

こんな感じでビールがお酒になり、ウイスキーになり、そして、ご用意いただいた鮎のなれ寿司、くじらの干物、さんま寿司、めはり寿司、イカやまぐろの刺身などに舌鼓みを打っていると、すっかり仕事を忘れてしまった。ジールを押し回してホテルに入った時は、もう日付が変わろうとしていた。

翌日、TW200の児島社長と付近をツーリング。階段、というよりは切り立った岩壁のような急坂をよじ登り、ゴトビキ岩と呼ばれる巨岩をご神体まつる神倉神社に詣でた。

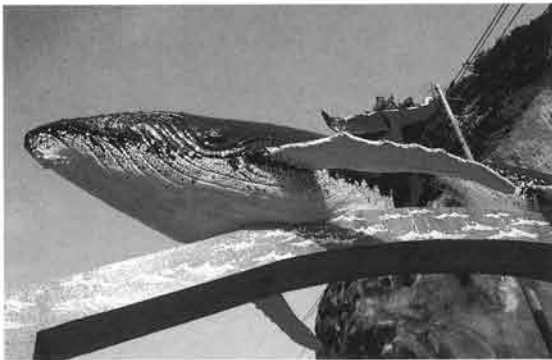
この石段は、源頼朝の寄進によるもので、538段もあり、毎年2月6日には白装束で松明を掲げた大勢の若者が一斉に駆け下る勇壮な「お燈まつり」で知られている。

そのほか、沼にプカリと浮かぶ浮島の森、新宮の地名由来となった熊野速玉大社など、いくつもの観光名所を案内してもらったが、やはりこの最大の名所は熊野川だ。

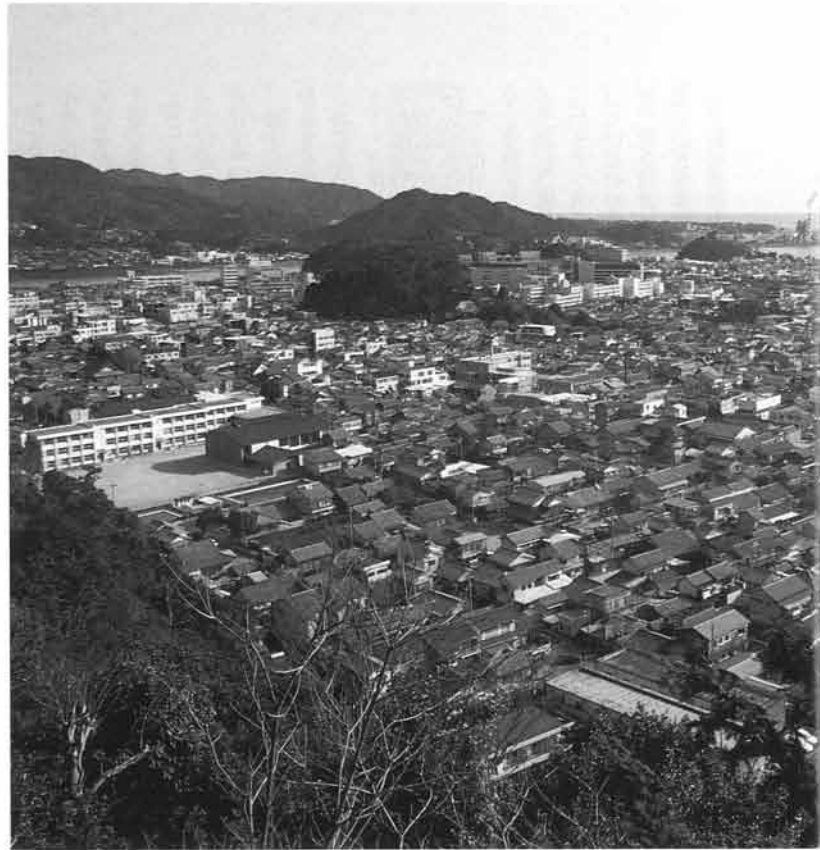
古くから木材の運搬、山間部との生活交流の重要な水路役を担った川で、その流れに沿う国道165号線を逆上れば本宮、静峡へ至る中辺路となる。さまざまな枝道も豊富で隠れた見どころも多いだろう。

生活のなかにバイクが根づく田辺とは対称的なMC文化を持つ新宮だが、今回は同じMC王国「南紀」のそれぞれ異なる一面を垣間見たにすぎない。

例えば中辺地の町々には、また違ったMC観もあろうし、旅のおもしろさも見つかるだろう。南紀は広い。走り足りない。魅力にあふれている。



ツチ鯨用に小型のキャッチャーボート(右端)が、今も2隻現役に活躍する



神倉神社からは、人口3万7000の町並みの2方を山、2方を熊野川と太平洋に囲まれて密集するさまが一望できる



# 今月の達人

YSP大宮中央 (埼玉県大宮市)  
新井千秋 社長(42歳)

アイデア 拝見

# Pint & Hint

## 安全指導

あたたかくなり、本格的なツーリングシーズンを迎えました。お客さまが活発に走り始めるこの季節こそ、一層の安全運転指導を心がけましょう。

### 「私だけは大丈夫」という小見出し意識から改善

お客さまに充実したバイクライフを提供する、これは二輪車販売店の一つの「使命」と言えるでしょう。

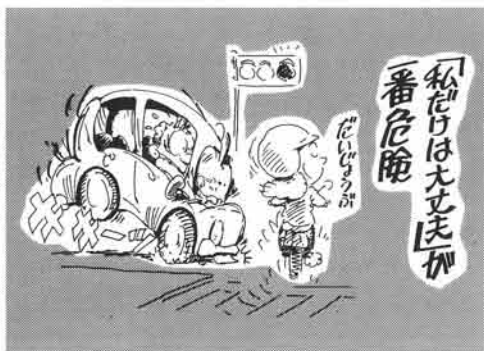
バイクライフには遊びを始めとする「ファン」の部分が大きく捉えられがちですが、その一方で「安全」という言葉も忘れることはできません。「楽しさ」と同時に「安全」も、お店にとっては大切なアピールポイントになるのです。

形として提示しにくい「安全」を、お客さまにどのように伝えていけばいいのでしょうか。今回は「安全」のアピールを積極的に行なっているYSP大宮中央の新井千秋社長にお話をうかがいました。

安全指導を語る時、忘れてはならない資格があります。それが「二輪車安全運転指導員」資格です。

「バイクショップの店主クラスなら持っているのが常識の資格と考えています。安全指導は頭の中でわかっているも、いざ現場ではなかなか実行しにくい。資格を取ることで相手の技術レベ

ルが判断できるようになるし、じゃあ、どう教えればいいのかもわかるんです」安全意識は初心者ほど低い、と新井社長は言います。なかでも、自転車に近い感覚で乗れてしまうスクーターにその傾向は顕著です。



「スクーターのライダーには初めてハンドルを握るといふ方が多い。そんなみなさんに共通しているのは、私だけは大丈夫」という気持ちですね。安全への意識を高め、技術的に事故回避できるような指導することが必要です。ウ



チでは、希望者を募って、近くの駐車で納車時の安全運転講習を行なっています」

自転車以上に、交通社会の中で重責を担っているスクーター、そしてスポーツバイク。講習会を通じて、お客さまはその認識を深めていくようです。

### 「遊びの要素を盛り込んで楽しく学べる安全講習」

安全運転をアピールすることは、バイクショップにとって大切な姿勢です。しかし、その一方ではお客さまに「堅苦しいお店」とマイナスイメージを持たれかねません。両者のバランスはどいう取っていったらいいのでしょうか。

「机に座って『安全、安全』と言つてもお客さまは聞いてくれない。安全の指導は楽しく行なわなくてはいけないと思つています。たとえばお客さまを招いて開催する試乗会。とくに50ccの試乗会にはお客さま全員に声をかけて、そこで安全に乗るための指導も行なつ



ています。その際にバーベキュー大会などを組み合わせれば、みなさん気軽に参加してくれますよ」

安全指導の場は試乗会に限りません。ツーリングなどは一般交通の中で必要な意識・技術を指導するのには最適な場とも言えるでしょう。

「安全と言つてもお客さまは何が安全なのか分からない。ツーリングは実践ですから、具体的にわかっていただければいいです。安全な服装——半ソデはだめだよとか、隊列を組むときに千鳥走りである必要とか、街中での加速・減速のしかたであるとか……現実に沿った公道での安全走行を肌で感じとってもらえますね」

初心者のお客さまなら、ツーリングを終える頃には明らかに安全意識が向上していると新井社長は言います。楽しく、実体験——安全という堅いイメージを楽しみという甘いオブラートで包んであげる工夫が、お客さまの心に声を届けるのです。

安全とは、いわば空気のようなもの。お客さま一人ひとりに安全を意識してもらうための手段として「輪車安全普及協会の『グッドライダー宣言』があります。同店ではこのほどG宣言実施優良店として表彰されることになりました。

「店の姿勢として、お客さま全員に主旨を説明しています。お客さま自身も宣言することで、安全の二文字が心に刻まれるようですね」

安全意識は無理に飲み込ませようとしても拒否反応が出てしまう。咀嚼しやすく、味付けも変えて出す、そんなちょっとした工夫で安全はお客さまの意識に浸透していくのではないのでしょうか。

## デンと構えたSRが 15歳の少年のいなすけ

**さ**あ、遊ぶぞ！ B君は見事に第一志望の公立高校へ合格し、両親に胸を張った。そして「お父さん、いつ連れて行ってくれるの」と、かねてからの約束ごとを持ち出した。

約束ごととは、オフロードコースでバイクに乗るというもので、もちろん公立高校合格が条件であったのだ。そして父親は、私立の入学金や授業料を考えれば、モトクロスカーの1台ぐらいなんとかなる、と秘かに購入計画も立てているという。B君にとっては、小学5年生の夏、父親と2人きりでキャンプしたとき乗ったPW50以来になる。

ともあれ解放感の固まりと化したB君は、合格発表のその夜、どこに泊まったか、母親をあきれさせるのであった。

そんなB君に、リハビリ職員として病院への就職が内定しているお姉さんがいて、通勤用にスクーターがほしい、という話は前号で紹介したが、父親に言わせれば、さっさと試験場に行けばいいものを、今だに“原付免許取得法”なんか3冊も手に入れて、いっこうに行動に移らないのだそうだ。

そのくせ弟とのバイク談議に花を咲かせる。「どこの（メーカー）スクーターがいいかなあ」「えっ！ お姉ちゃん、免許取ったの？」「まだ」「そんなの免許取ってからのしろよ」「お前、通学どうすんの」「バイクだよ」「禁止だよ、きっと。どうすんの。学校案内に書いてたでしょ」「そんなことなんにも書いてないぜ」とB君。

「バカだな、生徒手帳にはちゃんと書いてんだよ」とお姉さんは切り返す。

「黙ってりやバレないよ」とB君、決意は固い。「そんなことダメよ！ 自転車にしろさい」と母親、語気を荒げる。

「お姉ちゃん、ヤマハがいいよヤマハ」「でもなあ、いまヤマハ、パツとしないんだ

ってよ」。お姉さんには当然、友達がいる。話題に上がるボーイフレンドは、電話を受けたかぎりでは3人いると父親はふんでいるという。どうも、その彼らからバイクに関する情報がインプットされるらしい。

「バカだなあ、バイクっていうのは、パツとやポツとで買うもんじゃねえんだよ」と弟B君が主張する。そのB君のウンチクをちょっと紹介してみよう。

オレは、バイクにずっと乗り続けたい。ヤマハにはそんなオレにピッタリのバイクがある。SRだ。チャラチャラしてなくて、モデルチェンジしなくて、オレを待っていてくれる。バイクってのはね、カッコ良く乗るもんだぜ。だからオレは、コロコロ変わるようなバイクには乗らないんだ——。

何を小生意気なことを…父親は息子のバイク観に半ば苦笑し半ばうなずくのであった。「そんなこと言ったって、学校は禁止だと思

うよ」とお姉さんはしつこい。

「ハハハ、まあ、2、3回の停学は覚悟しないとイケないかな、お父さんたのむね」

それを聞いた母親が目を三角にしたのはいうまでもない。「たのむね」とはつまり、バイク禁止の場合、学校を説得してくれ、それは父親の役割だ、ということらしい。

「三ない」推進高校でないことを父親は祈っているのだとこぼす。「三ない」といえば「四ない」を推進してきた県が、たしか'90年180度転換しバイク（原付）を認めた。責任を持つという生徒の自主性と、乗せて交通教育こそ大切との判断だったようだ。その県では高校生のバイク死亡事故は減っている、と交通関係の専門誌は報じていた。

父親として、いや、いやライダーの先輩として息子にバイクを通して何を伝えられるだろうか。最近の父親のため息なのであった。息子のバースデーは今年の6月だ。





New  
MODEL

メーカー希望小売価格：¥539,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)。

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：フロストシルバー、メイプルレッド、ソフィアブルー



フロストシルバー

クオリティを全身で表現

ジール

ヤマハスポーツ

ZEAL

ニューカラー  
好評発売中



ソフィアブルー

扱いやすさとユーティリティを備えた新時代のスポーツバイクとして人気を集めるジールが、さらなるクオリティを演出するニューカラーで登場です。

'92年モデルとして採用された新色は、“フロストシルバー”“メイプルレッド”“ソフィアブルー”の3色。いずれも一味違った深みのある色で、ジールならではのクオリティ感をさらに引き出しています。

またこのカラーチェンジにあわせ、エンジンの外装を従来のモープシルバーからメタリックシルバーへ変更。ハンドル、ヘッドライトボディ、リヤサスペンション、マフラーにはクロームメッキを施し、フロントフォークアウターチューブとハンドルキャップはバフバレル仕上げとして、質感を大幅にアップさせました。

メーカー希望小売価格：¥669,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：シルキーホワイト/ビビッドレッドカクテル1



スポーツマインド満載

ヤマハスポーツ

# TZR250RS

4月25日  
新発売  
国内1,000台限定

走る楽しさ、操る快感を徹底的に追求したモデルとして、発売以来好評を集めるTZR250R。'92モデルはそのハイパフォーマンスにさらに磨きをかけてバイクフリークたちの話題を独占していますが、その最新モデルにレーシングマインドたっぷりの乾式クラッチを装備した『TZR250RS』が発売になります。

優れた操作性による切れの良いシフトフィーリングとミート時の好レスポンスが、より先鋭化するレプリカユーザーの期待に、高いスポーツマインドで応えます。また、カラーリングでもアッパーカウルはホワイトを基調とし、ゼッケンプレート部にGP500マシンを彷彿するイエローを採用。スーパースポーツモデルにふさわしい迫力を演出します。



メイブルレッド

New  
MODEL

より深く、より大きな大自然を目指して  
スペシャルバージョン

ヤマハマウンテントレール

# SEROW 225S

5月16日  
新発売  
国内2,000台限定

大自然と人とのコミュニケーションをテーマに、セローワールドとまで呼ばれるほどのオリジナルカテゴリーを確立したセロー225。今年で発売7周年を迎えることと、マウンテントレールとしてよりハイレベルな使用形態も出現していることから、セロー225の高機能バージョン「セロー225S」を発売します。

セロー225Sは、スタンダードモデルをベースに●ビルシュタインタイプ・リザーバータンク付リヤサスペンション●アルミハンドル●ブラッシュガードを標準装備とした他、ハンドルクラウン、ハンドルホルダーをバフバレル研磨クリアー塗装とするなど、各部の機能アップと、クオリティアップを図りました。

また外観でも、マニアックなユーザー層を満足させるクラブマーク調エンブレムをフェルタンクに配し、所有感を大きく向上させています。

今年にはセル付きモデルの初期ユーザーの代替期にあたります。どうぞ、さらに大きな自然とのコミュニケーションを求めのお客さまにご案内ください。

メーカー希望小売価格：¥359,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。  
カラーリング：パーブリッシュホワイトソリッド1 / ディープパープルソリッド1

パーホワイトソリッド1/  
フアラウェイブルー



# スタンダードモデルもイメージアップ SEROW 225

ニューカラー  
好評発売中

'92年のセローは、その独自の自然派志向にさらに磨きをかけ「森の中で映えるカラーリング」「アウトドアグッズとマッチするカラーリング」「真面目なコンセプトに合ったオシャレ感の演出」などをテーマに、カラーリングを一新しました。

パーブリッシュホワイトソリッド1を基調として、グラフィックにファラウェーブルー

フォレストグリーン、チャビィレッドの3色を用意。フレームも明るく白としています。

また、これにともないハンドルスイッチをニューデザインとした他、グリップの素材を塩ビからゴム管に変更。フィーリングの向上を図りました。



パーブリッシュホワイトソリッド1/  
フォレストグリーン



パーブリッシュホワイトソリッド1/  
チャビィレッド

メーカー希望小売価格：¥339,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：パーブリッシュホワイトソリッド1/チャビィレッド、パーブリッシュホワイトソリッド1/フォレストグリーン、パーブリッシュホワイトソリッド1/ファラウェーブルー



パーブリッシュホワイトソリッド1/  
ファラウェーブルー

# トラディショナルVツイン



エンプレスマルーン

を施し、優れた耐蝕性能を実現させています。

## ●コンベンションタイプのリヤサスペンション

フロントフォークは大径インナーチューブを備えたエア併用タイプで、ワンクラス上の性能を実現させました。

リヤサスペンションはトラディショナル感を味わえるコンベンショナルな2本タイプで、複筒式ダンパーにコイルスプリングの組合せにより、タンデム走行時にも十分対応できる性能を確保。またリヤサスペンションは、イニシャル調整が可能です。

## ●前後18インチタイヤの設定

フロントには90/90-18インチ、リヤには110/90-18インチのバイアスタイヤを採用しています。アルミリムとのコンビネーションにより、しっとりした乗り味と軽快でニュートラルな操縦フィーリングを実現させました。

## ●フロントに異径2ポットキャリパー装着ブレーキを採用

フロントブレーキには外径φ282mmディスクをマウント。これに異径2ポットキャリパーを装着させました。優れた制動力とコントロールのしやすさ、フィーリングの良さが特徴です。

リヤブレーキにはトラディショナルなドラムブレーキを採用しています。

## ●快適な走行を支える自由度の高いライディングポジション

長距離ツーリングからスポーツ感を楽しむライディングまで、様々な用途に対し自由度の高いライディングポジションを設定しています。

## ●パーツそれぞれの個性を主張するバフ仕上げ、クロームメッキ仕上げ

エンジンカバー類、フロントフォークアウトチューブ、フラッシャー、リム等のアルミ製パーツについてはバフ仕上げの上にクリア塗装を施し、パーツひとつひとつの質感を強調させています。

さらに、メーターケース、ヘッドライトボディ、ハンドルバー、ミラー、リアクッション、グラブバー、マフラーについてはクロームメッキ仕上げとし、それぞれの個性を主張させています。

その他、ハンドルのスイッチボックスやボルトオンタイプのテールライト、そして各ボルト1本1本の仕様にいるまで、それぞれのパーツが単独でも素材感を主張できるエレメンタリズムに徹した造り込みを施しています。

## ■SRV250仕様諸元

- 全長2095mm ●全幅720mm ●全高1055mm ●シート高760mm ●軸間距離1390mm ●最低地上高140mm ●乾燥重量144kg ●舗装平坦路燃費56km/ℓ (50km/ℓ) ●最小回転半径2.7m ●制動停止距離14m (50km/ℓ) ●エンジン4サイクル・空冷・SOHC・2バルブ・V型2気筒・248cc ●内径×行程49.0mm×66.0mm ●圧縮比98:1 ●最高出力27ps/8500rpm ●最大トルク2.5kg-m/6500rpm ●始動方式セル式 ●オイル容量2.0ℓ ●燃料タンク容量13ℓ ●キャブレター型式BDS26×2 ●点火方式フルトランジスタ、バッテリー式 ●バッテリー容量12V6AH ●1次減速機構ギヤ ●2次減速機構チェーン ●変速機常時噛合式前進5段左足動リターン式 ●キャスト24"25" ●トレール95mm ●タイヤサイズ(前)90/90-18 51S(後)110/90-18 61S ●制動装置(前)油圧式シングルディスク(後)リーディングトレーディング ●ディスク有効径(前)252mm ●ドラム内径(後)130mm ●懸架装置(前)テレスコピック(後)スイングアーム ●緩衝方式オイルダンパー、コイルスプリング(後)ガス、オイルタンパー、コイルスプリング ●ホイールトラベル(前)140mm(後)100mm ●ヘッドランプ12V 60/55W ●バルブ着脱式(ハロゲン) ●テールランプ/ストップランプ12V 5W/21W ●フラッシャーランプ12V 21W×4 ●メーター速度計、回転計



モーターサイクル本来の楽しさ、忘れていたフィーリングを最新技術で再現!

ヤマハスポーツ

# SRV250

4月25日  
新発売

メーカー希望小売価格: ¥449,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング: エンプレスマルーン、ダークシアンメタリック2、ダークパーブリッシュブルーメタリック2

先の東京モーターショーでセンセーショナルなデビューを飾ったニューモデル、走りの楽しさに加え、軽二輪クラスにはかつてなかったほどの所有感を満たしたトラディショナルVツイン『SRV250』がいよいよ登場です。

開発にあたっては、さらに広汎にモーターサイクルの楽しさを提案することを目的に『時代にこびないトラディショナルVツイン』をキーワードとしました。

単に走る、曲がる、止まるだけではなく、モーターサイクルのさまざまな楽しみ方を多角的に体験できる個性派ニューモデル『SRV250』。カテゴリーの分散化傾向が進む軽二輪市場に、新たな一頁を開くべく自信を持って投入するオリジナルカテゴリー商品です。



ダークパーブリッシュブルーメタリック2



ダークシアンメタリック2

## SRV250 の主な特徴

### エンジン関係

#### ●スリム&コンパクトな挟角60度空冷Vツインエンジン

搭載する挟角60度空冷Vツインエンジンは、ヤマハスポーツ「XV250ビラーゴ」に採用のV型2気筒エンジンをベースに、吸排気系及び外観を一新し、トラディショナルモデルにふさわしい性能を具現化させたパワーユニットです。

最高出力は27ps/8,500rpm、最大トルクは2.5kg-m/6,500rpmの設定とし、ボア49.0mm×ストローク66.0mmのロングストロークエンジンならではの低中速域の気持ち良いトルク感を生かしながら、あわせて高速域での軽快なレスポンスを両立させ、心地良い走行フィーリングを約束します。

#### ●26mm径ツインキャブレター等の採用

とくに吸排気系については、①26mm径ダウンドラフト吸気のツインキャブレターの採用、②吸排気系の最適化、③吸気ポートの最適化、④バルブ開度のワイド化など多岐に渡るニューフィーチャーを織り込み、中低速域でのメリハ

りと高速域での好レスポンスを実現しています。またこうした基本性能の達成とあわせ、強度アップを図ったピストン、コンロッド、クランクを新たに採用し、耐久性と信頼性を確保しました。

#### ●歯切れの良い排気音を実現する新設計マフラー

排気系には新設計の多段膨張反転式マフラーを採用、左右マフラーの中央部をパイプで連結させ、優れた排気性能と排気騒音の低減を図りました。さらに、マフラー後端部にもメッキを施し、この部分をトランペット形状に成形して歯切れ良い排気サウンドを実現しています。

#### ●デジタル式フルトランジスター点火方式の採用

エンジンの全回転域にわたり最適な点火時期をマイコンで制御するデジタル式フルトランジスター点火方式を採用しています。

#### ●Vツイン初、オーソゴナルエンジンマウント方式の採用

250ccVツインエンジンならではの心地良い走行フィーリングを実現するキーポイントになっているのが、Vツイン初のオーソゴナルエンジ

ンマウント方式の採用です。コンピューター解析によりフレームへのエンジンマウント位置とラバーの選定を行なうヤマハ独自のこのオーソゴナルエンジンマウント方式は、ライダーに伝わる体感振動の大幅な減少と、エンジンの心地良い鼓動の強調をあわせて実現。その結果、振動が少なく鼓動を体感できる新しい感覚の走行フィーリングを実現しています。

### 車体関係

●高張力鋼管ダブルクレードルフレームの採用  
フレームには大径高張力鋼管ダブルクレードルフレームを採用、必要かつ十分な剛性と強度を確保して、優れた操縦安定性を引き出すとともに、トラディショナルな外観スタイルを演出しています。

#### ●電着+静電塗装によるクオリティ感を強調したフレーム&リヤフレーム

このダブルクレードルフレームとともに、前後フェンダー、フューエルタンク、サイドカバー、アルミ鋳造フットレストブラケットは、すべて統一した車体基本色を採用。とくに、フレームとリヤフレームについては電着+静電塗装

New  
MODEL



ライトグリーニッシュグレーメタリック3

春を迎えて新たな装いを追加

ヤマハスクーター

# Mintスペシャルエディション

好評発売中

メーカー希望小売価格：¥107,000

(北海道、沖縄および一部離島を除く)

※価格には保険料、税金(含む消費税)、登録にともなう諸費用は含まれません。

カラーリング：ライトグリーニッシュグレーメタリック3、  
ライトグレーイッシュブルーメタリック1



ライトグレーイッシュブルーメタリック1

飾り気のないシンプルでベーシックな外観と、セルフスターター装備で扱いやすいオートマチックエンジン、そして十分な居住性として若い女性を中心に幅広い支持を集めるミントスペシャルエディションに、春らしい新色が加わりました。

追加カラーは「ライトグリーニッシュグレーメタリック3」と「ライトグレーイッシュブルーメタリック1」の2色。どちらも淡く落ち着いた雰囲気を演出する、微妙で奥ゆき感のある色調が特徴です。

ブラック2、セラミックホワイト、サムソンブルー、ボルドー、レッドの従来色とともにさらに華やかにラインナップしたミントスペシャルエディションをよろしくお願いいたします。

New  
PRODUCTS

さらに進化したオールウェザーブルゾン  
RY-279 ¥16,800

ソフト素材で全天候型ウェアを実現。ベンチレーションを装備し、AWEコンポによりレインスーツへも発展。まさにバイクウェアの理想形をつめこみました。



限定商品

より快適なバイクライフを

92 YAMAHA RIDING WEAR

SPRING & SUMMER COLLECTION 発売!

スプリング サマー コレクション

ご拡販、よろしくお願いたします。

機能性とファッション性を高次元でバランスさせた全58デザイン、174カラーアイテムからなる'92年のヤマハラディングウェア/春・夏コレクションが新発売されます。開発のテーマは「快適思想の追求」。今回の特徴のひとつは、全天候型商品のオールウェザーシリーズを充実させたことで、RY-279オールウェザーブルゾン(限定品)、TY-121チームヤマハオールウェザーブルゾン(限定品)をはじめ、品質、バリエーションとともに、より魅力的な商品が揃いました。

また、定番商品としては軽量、コンパクトで着心地に優れたRY-723レインスーツやカラフルなデザインでポップなイメージを演出したレーシンググローブYL-407、さらに高性能なGL-532レーシンググローブなどを加え、より豊かなバイクライフを応援します。

どうぞ、お客さまへの積極的なご案内、よろしくお願致します。なお詳しくは『1992ヤマハラディングウェア スプリング&サマーコレクション』カタログをご参照ください。



定番商品



高性能スーパージオラマグローブ  
GL-532 ¥11,500

好評のGL-530のバージョンアップモデル。甲掌共シーブ素材を使い、さらに手の疲労を少しでも軽減させようと新開発された、ナチュラルソリッドメソッズを採用し、抜群のフィット感とワークスライダーよりフィードバックした完璧なプロテクションによる安全性をもつスーパーレーシンググローブ。



限定商品

チームヤマハオールウェザーブルゾン  
TY-121 ¥19,800

チームヤマハの人気モデルをオールウェザー化。外観は普通のブルゾンですが、耐水圧6000ミリでシーリングテープも施してあります。また、素材は従来のオールウェザーのナイロンPVCより格段にソフトで、快適性をアップさせたものを使用しています。



定番商品

U-PIXコーティングで、軽くコンパクトなレインスーツ  
RY-723 ¥13,800

軽量でコンパクト、そして快適な肌触り。パンツの裾は34cmのファスナーを使用し、靴やブーツをはいたままでの着用がかんたんです。



# FROM SAFETY

## 今年も始まるバイクのイメージアップ活動 キーワードは『<sup>バイクゆとりびと</sup>二輪余裕人』



**今** 月6日から15日まで、恒例の『春の全国交通安全運動』が行なわれます。販売店のみなさんをはじめとした二輪業界でも、バイクシーズンが開幕するこの時期に合わせて、各地でさまざまな安全を呼びかける活動が盛んになってきますが、(株)日本自動車工業会が全国展開する『人とバイクの友好生活'92』キャンペーンもそのひとつです。

これは、バイクならではの良さを広く社会にアピールするとともに、安全で快適なバイ

クの利用を促進しようと昨年に続いて行なわれるもので、今年は「バイクはココロのゆとりで楽しむ乗り物です」をテーマに設定し、『二輪余裕人(バイクゆとりびと)』をキーワードとして掲げました。

そして、キービジュアルにはイラストレーター秋山孝さんによる「鳥」がモチーフのイラストを採用。ほのぼのとしたタッチで「ゆとり」を表現しています。

今後は、これらを統一のイメージとして新聞や二輪ユーザークラブ誌に広告を出したり

ステッカーを作って配布するほか、昨年実施して好評だった『ほのぼのバイクライフ フォトコンテスト』や、8月19日「バイクの日」のイベントとしておなじみのバイクフォーラム『人とバイクの友好会議』も行ないます。

詳しい内容は、各メーカーの雑誌広告や各種キャンペーンツールで紹介されますので、ぜひ店頭でも大きく話題を広げていただきたいものです。

なお、フォトコンテストの内容は、27ページでも紹介しています。

人柄が 心が見えます ライディング

第4回Y.E.S.S二輪車セーフスローガンとマンガ募集/スローガンの部・準グランプリ作品

人とバイクの友好生活

見る・見られる・いい運転。

## SERVICE

### お店の技術力アップに欠かせない YTSヤマハ二輪車整備士講習会

バイクファン待望のシーズンとなりました。おなじみのお客さまはもちろん、今春からのフレッシュなお客さままで、店頭はこの季節を待ちかねた大勢のライダーで大変な賑わいを見せていることでしょう。

お店にとっては、これからのシーズンをいかに楽しく、快適にバイクと付き合ってもらえるかがカギとなります。そのためには、お客さまの愛車をしっかりとバックアップする優れた技術サービスが欠かせない要素のひとつ。『YTSヤマハ二輪車整備士講習会』をぜひ積極的にご活用いただき、お店のスタッフひとりひとりのスキルアップにお役立てください。

#### ●YTSヤマハ二輪車整備士講習会日程

日時	4月	5月	6月
会場			
北海道 ヤマハ			
ヤマハ 東北			
東京研修 センター	2M 21-23	2M B 4M 12-14 19-21 26-28	2M 2-4
研修会館 (ヤマハ中島)		2M 13-15	D 4M 16-19 24-26
神戸研修 センター		B 2M 12-14 26-28	2M B 4M 2-4 17-19 24-26
ヤマハ 中 国	B 8-10 松江	B B 13-15 20-22 広島 鳥取	B 9-11
ヤマハ 四 国	B 8-10 高知	B 12-14 徳島	2M 10-12
福岡研修 センター	B 15-17	2M 20-22	

日時	7月	8月	9月
会場			
北海道 ヤマハ			
ヤマハ 東北	2M 4M 13-15 16-18		
東京研修 センター	2M 4M 7-9 22-24	2M 4-6	4M B 8-10 16-18
研修会館 (ヤマハ中島)	2M 1-3	4M 4-6	2M 2-4
神戸研修 センター			
ヤマハ 中 国	B B 8-10 22-24 福山 広島		B 2M 2M 9-11 17-19 24-26 松江 広島 岡山
ヤマハ 四 国			B 8-10 松山
福岡研修 センター	B 7-9		4M 9-11

B/ベーシック 2M/2サイクルマスター 4M/4サイクルマスター D/ドクター  
※都合により開催日の変更および中止をする場合がありますので、ご了承ください。

## SALES

### SRVデビュー、セロー7周年記念 話題を大きく広げるキャンペーン開始!

ポカポカ陽気に誘われて、お客さまのスポーツ心も大きくふくらむ春、ヤマハは注目のニューモデル『SRV250』をデビューさせます。

また、発売以来7年、おとろえぬ人気を誇るロングセラー『セロー225』は、よりビビッドなニューカラーをまとって新登場。バージョンアップした『セ

ロー225S』も加わってフレッシュな魅力がいっぱいです。

いずれも、この季節の主力商品として店頭を飾り、お店さまとの会話も弾んでいることでしょう。

そんななか、ヤマハではその話題をいっそう楽しく盛り上げる2つのキャンペーンを用意しました。

まずひとつは、お客さまが『SRV250』に求める世界を、ハイセンスなビデオで表現した特製ビデオカタログをプレゼントしようというもの。

そしてもうひとつは、セロー発表7周年記念『BE-PAL CLUBグッズプレゼント』。自然派ライダーの心をくすぐる5アイテムを揃えています。

期間はどちらも4月1日から5月31日まで。詳細は、ポスターやチラシ、雑誌広告などでご確認ください。

●SRV250『ビデオカタログ』プ

レゼントキャンペーン

対象/①店頭でのアンケートにご協力

いただいた先着3000名さま

②フリーダイヤル(0120・3191819)でお申込み

いただいた先着1000名さま

●セロー225『BE-PAL CLUBグッズ』プレゼントキャンペーン

対象/『SEROW225』についてアンケートに答えていただいた応募者225名

## SAFETY

### 緑なす山並み、大自然を走ろう! 今年も開催『アースリランin信州』

昨年、『YESSの全国イベント』として開催、大変好評をいただいた第1回『YESSアースリランin信州』を、今年も8月1日〜8月2日の2日間に行なっています。

今回は、北アルプスを望む八方尾根中腹にある白馬八方尾根スキー場を目的地として、行き帰りのツーリングを

大いに楽しみ、また全国の仲間たちが集まる目的地ではさまざまなミーティングイベントを通して大自然のすばらしさ、仲間どうしの交歓を満喫していただくことを企画したものです。

モーターサイクルを愛するYESSスタッフであれば、誰でも気軽に参加していただけるよう、さまざまなツー



## SAFETY

### 「YUTORI」をみつけてシャッターを 第2回『ほのぼのバイクライフ』 フォトコンテスト

四季を感じ、自然を肌で知ることが素敵なことだと言われる今、バイクとともに過したゆとりの時間や、ちょっといい日を写真に撮ってみませんか？ というのが『ほのぼのバイクライフ』フォトコンテストです。これは、『人とバイクの友好生活』キ

ャンペーンの一環として昨年初めて実施されたもので、合計919点に及ぶ



作品が寄せられました。

そこで、今年も第2回を実施、4月1日から6月15日まで、次の要領でコンテスト応募作品の募集が行われます。ぜひ多くのお客さまにご案内ください。

#### ●第2回『ほのぼのバイクライフ』 フォトコンテスト

賞/特選1点・賞金30万円、準特選3点・賞金10万円、ほか入選5点、佳作20点に豪華賞品あり  
応募写真/カラーまたはモノクロプリントで未発表の自作品。サービス

サイズ/四切までのサイズで一枚写真。作品裏面に題名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記

締切日/6月15日(月)当日消印有効  
審査員/写真家・織作峰子ほか  
発表/7月中旬発行の新聞ほか。入賞者には直接通知します

作品応募・問合せ先/T-05 東京都港区芝郵便局止『ほのぼのバイクライフ』フォトコンテスト事務局  
局 03-34335-9564

主催/財団法人自動車工業会  
注意/入選作、入賞作の著作権は主催者に帰属します。応募作品の返却をご希望の方は、写真1枚ごとに返却希望と朱書きし、住所、氏名を明記した返信用封筒に応募時の郵送料と同額の切手を貼付のうえ同封してください。入賞者には、通知後作品のネガと応募作品に関するリポート2000字程度をお送り願います。

そのほか詳しくは、事務局まで直接お問合せください。

## SUGO

### 春の連休はファミリーで過ごす SUGO・ゴールデンウィークフェス

桜前線の北上とともに、南から北へ本格的な春が訪れる季節。桜だけではなくいろいろな春の花が咲き誇り、休日はお花見に出かける方も多いことでしょう。

そして、次に控えているのは今年最初の大型連休・ゴールデンウィーク。あちこちへのツーリングやレースイベ

ントが盛んに行なわれる時でもありますが、それこそ長い連休、バイクだけで過ごすより、たまには家族サービスを心掛けたいですね。

そんな時の主役はやはり子どもたち。5月3日～5日、SUGOでは、恒例の『まんがまつり』を開催。テレビでおなじみの『まじかるタルートくん』

や『ドラゴンボールZ』きんぎょ注意報の『人気キャラクターたちが日替わりで登場するゆかいなショーで賑やかに過ごしてください。また、この期間中、SP広場ではかわいらしい動物たちと遊ぶ『ふれあい動物ランド』や子どもたちのフィールドアスレチック『チャイルドランド』、馬の背設設ヘリポートでは大空の散歩が楽しめる『ヘリコプター遊覧飛行』も行ないます。

さらに、5月5日は『92フォーミュラフェスティバルin SUGO』と題し、

F1マシン、ティレル019をはじめF3000、F3、レーシングカーなどのフォーミュラカーが大集合。レーシングコースやカートコースを使って、いろいろなデモンストレーションやアトラクションを展開します。観て、触って、乗って楽しめるモータースポーツ三昧の一日を、ご家族で満喫してください。

そのほか、詳しくはSUGO東京営業(03-3575-477)かSUGO仙台営業(0224-83-471)までどうぞ。

## A D

### 4月のヤマハ提供番組

#### ●ONANDOFF

陸と海、2つの大きなフィールドを舞台に展開するすばらしいヤマハワールドの数かずを紹介する番組です。巧みなカメラワークを駆使した美しい映像と選抜いたBGMで、話題性に富んだテーマをスポーツマイナンドたつぷりにお届けします。

▼4月4日(バイク編)  
『ラプリー・ファミリー・モーターサ

▼4月11日(マリン編)  
『マリンイベントを陰で支える男達』

▼4月18日(バイク編)  
『バイクを駆るSF作家』

▼4月25日(マリン編)  
『マリンイベントを陰で支える男達』

※都合により、一部内容が変更となる場合があります。  
※一部地域では放送日が異なります。  
テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪

テレビ愛知、テレビせとうち、ティール・エックス・エヌ九州/毎週土曜日18時30分から18時45分。静岡放送/毎週日曜日10時45分から11時、東北放送/毎週金曜日24時40分から24時55分。テレビ新広島/毎週木曜日24時35分から24時50分。

●NNN・今日の出来事  
毎日のさまざまなニュースやスポーツ情報を、タイムリーにお届けする夜のニュース番組。知的でさわやかな桜井良子キャスターを中心に、それぞれ個性的なキャスター、コメントーターが切れ味鋭くテーマに迫ります。

日本テレビ系列全国29局ネット。ヤマハ提供・毎週月曜日23時～23時55分。  
●オリジナルコンサート  
私たちの創った世界

世界各国で精力的に活動を続けている(財)ヤマハ音楽振興会「ヤマハ音楽教室」。そこで育った世界の子どもたちによる自作自演コンサートの模様をお届けします。日曜の朝をすがすがしく彩る純粋な音楽の響きをゆつくりとお楽しみください。テレビ朝日系全国17局ネット・放送日/毎週日曜日。放送時間/7時30分から8時。



©バードスタジオ/集英社・フジテレビ・東映動画

## 「世界のタイラ」現役を引退！ 新たな世代の育成に努めたい」

1983年より、ヤマハワークスライダーとして国内外の多くのビッグレースに参加、数々の輝かしい戦績を収めた平忠彦選手が、3月11日、正式に現役ライダーを引退すると発表しました。

これまで平選手は、77年のノビス250ccクラスデビュー以後、16年間にわたるライダー生活を続け、ヤマハワークス入りした後、'83、'85年全日本選手権500ccクラス・3年連続チャンピオン、'86世界選手権サンマリノG



新聞、雑誌、テレビなど300人もの報道陣が詰めかけた記者会見のあと、激励懇親パーティには笑顔で登場した



翌年の世界GP500フル参戦を前にした'86年、日本GPでガードナー、TBCでローソンと激しい一騎打ちのすえ2連勝。大勢のファンを熱狂させた

ドラマチックに締めくくってみせた象徴的な一戦でした。  
優れたスポーツ選手を形容するのに「記録に残るより記憶に残る」という言い方がよくされますが、平選手の場合はまさしくその両方に当てはまる人といえるでしょう。

しかし、こうして16年間、ひたむきに情熱的にレースと取り組んできた平選手も、昨年5月の全日本・SUGO大会で転倒、レーサーとして一番大切な要素とする緊張感、集中力の衰えを感じ、引退を決意したそうです。

「現役生活のなかで、もうやり残したことは何もありません。これからは、尊敬するケニー・ロバーツやエディ・ローソンから学んだことを生かし、チーム・タイラの若手をGPライダーに育て上げていきたい」と、平選手は明るい表情で力強く抱負を語りました。

なお、全国のファンに対する最後のご挨拶として、4月26日(日)、全日本選手権第3戦・SUGO大会で、ラストランが行なわれるほか、4月25日に仙台、4月27日に東京、そして8月1日の「アースレーン」会場それぞれ「さようならの集い」が開かれる予定です。



ついに念願の8耐初優勝。その瞬間、敵味方の区別なく全員が惜しめない拍手を送った



初の世界GPフル参戦に挑んだ'83年、最終戦サンマリノでは28番手から驚異の追い上げて初優勝を飾った



'83年全日本500のチャンピオンを奪って手にしたゼッケン①は、以後3年間誰の手にも渡さなかった

ヤマハコーナーに足を止めるのはやはり若者が中心



家族づれから若いカップルまで、客層が広い九州モーターショー

## 春を先取りして出足活発な九州 2つの地方版モーターショー開催

昨春秋、2年に1度のビッグイベント『東京モーターショー』が開催されて以来、名古屋や大阪などの地方都市でもそれぞれ地方版モーターショーが行なわれましたが、春の訪れが早い九

州地区では今年、バイクシーズン開幕に先がけて開かれた2つのショーイベントが話題となりました。  
まずひとつは、2月7日〜11日まで福岡県北九州市の西日本総合展示場を会場として、北九州市やJR九州、読売新聞社など数社が合同主催した『第2回九州モーターショー』。これは、東京モーターショーと歩調を合わせ、2年に1度の祭典として定着をはかろうと力を入れているもので、地元の注目度もかなり大きく、今年は何回を上回る延べ21万人の観客で賑わいました。

ヤマハブースには、ビラーゴ1200、TDM850といった大型スポーツ車のほか、東京モーターショーに初登場したSRV250やフロッグなども展示。終始大勢の人並みに囲まれ、出足好調を予感させる人気ぶりでした。さらに、2月22日・23日には、ヤマハ熊本㈱と協賛店のみなさん主催による『92ヤマハモーター&マリッジフェスティバル』を開催し、春一番の元気なヤマハをアピール。  
近未来コンセプトモデル「モルフォII」が九州で初めて展示されるとあって、ヤマハ単独イベントにもかかわらず1600人も観客が詰めかけ、会場となった熊本市流通情報館は2日間とも大変な熱気に包まれました。



人気を集めたのはセローやDT200WR、SRV250、フロッグなど。観客の反応もよく、春に向け出足好調を予感させた



展示車は、モーターサイクル80台、マリッジット8台、モーターホーム8台など大盤振るまい。今年に賭ける意気込みが伝わる

モーターサイクル・フリックに春の到来を告げる恒例イベント『第21回東京モーターサイクルショー』が、今年も3月13〜15日の3日間、東京流通センターを会場に開催されました。  
例年同様、各社からニューモデルやコンセプトモデルが展示されたほか、趣向をこらしたカスタムバイクなど約400台が勢揃い。ヤマハもSRV250、TDM850、そしてモルフォIIの3モデルを出展し、大きな注目を集めました。  
また会場中央のイベントステージでは、安全運転講習会やライダーのためのファーストエイド講習会など興味深いイベントが催され、たくさんのライダーが熱心に耳を傾けていました。

## 東京モーターサイクルショーで SRV250等、ヤマハモデルに話題集中



カスタムバイクのベイスとしても、ヤマハ車は人気特にV-MAX1200が多数取り上げられた



ヤマハブースはSRV250、TDM850、そしてモルフォIIの3モデルを出展。発売直前のSRV250に話題が集まった

## 「ゼロワールド」をまるごと体験！ 満足、納得、大好評のプレス試乗会

山を抜け、川を渡り、大自然の懐ろ深く分け入るトレールライディングの楽しさを満喫できる一台として、'85年の発売以来、確固たるポジションを固めてきた「ゼロ225」。

3月25日にはカラーを一新した'92年モデルが登場、5月16日には諸機能とクオリティ感をアップさせたスペシャルバージョン「ゼロ225S」を発売します。それに先だって、3月14日、15日、静岡県・浜北トレールランドとその周辺道を利用したプレス向け試乗会を開催しました。

今回は、ゼロそのものの走りや機能にとどまらず、「ゼロワールド」をまるごと体験していただくことが狙い。テストライダーからライター、編集者まで全員に一台ずつ貸し出し、各媒体ごとに3名プラス開発担当者ひとりという4名がグループとなって、実際に5時間かけて林道ツーリングを楽しんでもらいました。



トレールランでこそゼロの真価がわかる

そのおかげで、試乗会は大成功。新しいゼロ225Sについて、リアサスペンションに高い評価が集まったほか、何よりも「本当に楽しませてくれた。おかげでゼロの持つ世界がよく理解できた」「改めて、ゼロはいいバイクなんだなあ」と実感した。「いつも見ているだけの立場だったが、初めて林道を走った。こんなに走りやすいバイクだとは思わなかった」と全員が満面に笑みを浮かべて話してくれました。今後、またさまざまな誌面で、ゼロが取り上げられる機会がさらに増えてくるに違いありません。



1媒体3名のグループに1名の開発担当者が同行し、密なコミュニケーションをはかった点も好評



この日集まったプレス関係者は13媒体33名、ひとり1台ずつゼロを用意した

## えんじょいサーキットミーティングが TSOS/CRMミーティングと 併催で開幕!!

本格ロードレースへの登龍門として人気の「YESS えんじょいサーキットミーティング」は、今年で8年目を迎えるYESS東京の恒例イベント。TZR125やSDRによるワンメイク、そしてTZ50、TZR50のミニバイクレースをシリーズ化し、モータースポーツの底辺普及を目指しているイベントです。

その第一戦が2月11日祝、筑波サーキットでスタートしましたが、今シーズンより伝統の「ザ・サウンド・オブ・シングルズ」と「クラシック・レーシングモーターサイクル・ミーティン

グが併催となり、例年以上の盛り上がりを見せました。

「偉大なる草レース」として人気の「ザ



ポケバイレースやビンゴ大会も開かれ、ファミリーでの参加も数多く見られた

## 「教え方、教えます」 インストラクターのための講習会開催

オフロードブームの到来とともに、ショップ単位での走行会やライディングスクールが活発に展開されています。そこでこうした現状にあわせ、販売店

のみなさんにインストラクターとして必要な知識を習得してもらい、より効果的なイベント開催に役立てていただくことを目的とした講習会が、2月26日、ヤマハ東京(株)東京営業所の主催で開催されました。



「自店のイベントに役立てたい」と、参加者は真剣そのもの

「YESS ショップオーナーズ インストラクタースクール」と名付けられたこのイベント、会場となった茨城県筑波サーキットには、19店舗26名のオーナー、店長、店員さんが集合。具体的なオフライの開催方法を教わって店のイベントに役立てたい、「日頃の自分の教え方をチェックしてきた」とはつきりした目的を持って午前中の座学、午後からの実技に取り組みました。



寒空の下で9レースを開催。各クラスとも今シーズンの激戦を予感させる白熱したレースが展開された

・サウンド・オブ・シングルズ」では、例年どおりSRX400/600が大挙出場。NS1クラス(フォーマル)では2-17位を、MS1クラス(モディファイ)では1-4位をSRXが独占し、相変わらずの強さを発揮しています。なお4月5日(日)には第2戦が行なわれ、7月19日(日)、10月3日(土)、今シーズンは4戦が組まれています。



昼休みには'92DT200WRと旧モデルとの比較試乗も行なわれ、新型の良さを改めて体験した

講師の吉原朋正さんは、国際A級ライダーとしての技術面はもちろん、普段ユーザーを対象にしたインストラクターとしてのノウハウ、説明の仕方や参加者の気の引き方などをこと細かにわかりやすく解説。午後は参加者に実際にインストラクターになってもらい、その講習の進め方を具体的に指導。教える側、教わる側とも、熱のこもった講習会となりました。

## アメリカ杯奪取の夢ふくらむ！ ニッポン準決勝へトップで進出

世界最高峰のヨットレースとして話題の「アメリカス・カップ」挑戦艇を決める「ルイ・ヴィトン・カップ」シリーズに参戦している「ニッポン・チ



ヤレンジ・アメリカ杯1992。チームは、74ポイントを獲得し予選ラウンドロビン(総当たり戦)をトップで通過、準決勝へ駒を進めました。

まず、1月14日に開幕した第1ラウンドロビンで6勝1敗と好調な滑り出しを見た「ニッポン」は、第2ラウンドロビンも5勝2敗でニュージールランド、イタリアに続く3位。

そして、3月8日に始まった第3ラウンドロビンでは、艇の改造が狙いどおりうまくいったこともあり、強敵をすべて退け7戦全勝。トータル18勝3敗、74ポイントとトップの成績で予選をクリアしたわけです。

特に第3ラウンドで初めて、挑戦艇候補の最右翼ニュージールランドを破ったことで、チームの士気は最高潮。スキッパーのクリス・テイクソン氏も「またひとつチームが強くなった」と、夢実現に自信をのぞかせました。

準決勝は、3月29日からニッポン、ニュージールランド、イタリア、フランスの4艇による3回のラウンドロビンで計9戦ずつを行ない、勝ち数の多い上位2艇が決勝へ進むことになっています。

## より華やかに、より機能的に '92-'93秋/冬用ウェア展示受注会開催

店頭には、すでにデリバリーされた春/夏用の新作ライディングウェアが展示され、バイクシーズン開幕の活気に満ちているところでしょう。

しかし、アパレルの世界では早くも次のシーズンに備え、恒例となった'92-'93秋/冬ヤマハライディングウェア展示受注会を3月5日、6日、東京都大田区の東京流通センターで開催しました。

人気商品「TEAM YAMAHA」をはじめ、先練されたデザインを誇る「ジオラマ」や高品質の「TAKA」ブランドの皮ツナギ、ブーツなど中心



性能がより重要視される秋/冬ものだけに、袖やえり元などの機能に対する質問が多かった

に、オフロードウェアやカートウェア、マリナーウェアなどを多数展示。美しくコーディネートしたディスプレイ



この春登場したヤマハヘルメット「YFV」と「ギブソン」。ともに販売店の皆さんの関心が高く、その品質の高さに多くの方が手応えを感じられたようだった

コーナーも設けられ、会場は大変華やいだ雰囲気になっていました。

足を運ばれた販売店のみならず、資料を片手にデザインや機能、カラーリングなどを入念にチェック。担当セールスマンと一緒に商品構成を検討される姿が会場のあちらこちらで見つけられました。

## 目の不自由な人のために カナダでもチャリティ試乗会開催

トロント市にあるヤマハ・モーター・カナダは、モーターサイクルをはじめ、スノーモビルやゴルフカー、芝刈機、



緑豊かな大自然のなかで、のんびり試乗を楽しむ

船外機など、あらゆる商品を扱っており、「グオリティ」のヤマハとして高い企業イメージを持たれています。

そうした背景には、当然、商品性の高さ、品質管理の良さがあげられますが、もうひとつ、社会的な貢献度も見逃せない要素。

日本では、YESSが盲導犬を送る「ナイスライド募金」を行なっているのと同様、カナダでも、目の不自由な人のために役立ててもらおうと、チャリティ試乗会を開催しているのです。

住むところは違っても、モーターサイクルに携わる人たちの優しい心は変わりませんし、こうしたささいな活動が、より良いブランド・イメージを築いていくのでしょう。

## '92 YAMAHA NOVELTY

レース観戦に欠かせない

■フィールドギアウォッチ (No.373005/19,500円)  
サーキットの必需品ストップウォッチ機能をはじめ、タキメーター、クロノグラフもついたアウトドア志向の腕時計。10気圧防水のタフさがうれしい。



■ミニコンパクトチェア (No.373012・3/5,500円)  
スタンドばかりか観戦ポイントとは限らない。折りたたむと1本の棒状になって持ち運びしやすいこのイスがあれば、思いついたその場所が特等席に早わかりする。黄緑とオレンジの2色。

■デイバック (No.373006/7,500円)  
カメラやプログラムを片手に、スタンドやパドックを活発に動き回ることが多いサーキットでは、なるべく両手をフリーにするのが基本。必要な小道具はすべてコレに収めておけば大丈夫。



# SX ブラッドショー初タイトル目指して ランキングトップ快走中!

開幕戦こそ転倒で順位をあげられなかったものの、第2戦ヒューストンから勢いに乗ったD・ブラッドショー。2月22日の第6戦、アトランタでも昨シーズンのチャンピオン、J・M・ペイルを振り切り、5連勝を達成。昨シーズンをもって現役を引退したリック・ジョンソンの持つ、スーパークロス6連勝の記録に僅か「1」と迫った。

インターバルに行なわれたAMAナショナル250の開幕戦でも、ヒート1で優勝。好調の波を持続したまま、3月7日、デイトナでの第7戦を迎えた。

決勝レースではスタート良く飛び出したものの、スタントンがブラッドショーに追いつき、2人の激しいトップ争いが

展開された。追いつかれたものの、一度

前に出たスタントンを再度抜き返すなど記録がかかったブラッドショーも譲らない。しかしレース中盤、ブラッドショーがコースアウト。素早く復帰するも、トップとの差は大きく開いてしまった。懸命に追い上げるブラッドショーだが、あと僅かでスタントンの背中をとらえられるところでチェッカー。記録は「5」でストップした。

それでもランキングの方は、2位スタントン、同点のペイルを26ポイント引き離してのトップを独走。シリーズの折り返し地点ではあるが、初タイトルへの期待が大きくふくらんできている。



“憧れの的”であったというR・ジョンソンの記録にあと1と迫りながら、惜しくも2位に終わった



# Racing RExpress





# 予選でのトラブルを克服し グージェルミンが11位完走



終始冷静な走りで見事な完走したM・グージェルミン

3月5日に開催された'92シリーズの開幕戦、南アフリカGPは「サソル ジョーダン・ヤマハ チーム」にとって、厳しいスタートとなった。

練習走行からエンジンの冷却系にトラブルが発生。標高の高さと、パワーをかせぐため回転数を上げたのが原因のようだ。金曜日の予選、グージェルミンのマシンはオーバーヒートとギャボックスのトラブルに見舞われる。土曜日には予選中にブローアップ。23番手で通過するのがやっとの状況。

一方のモデナは、金曜日にスピン、Tカーに乗り換えるが、土曜日は午前の練習走行、午後予選ともにエンジンがブローアップ、タイムアタックができないまま、予選落ちとなった。

この問題を解決するため、ヤマハスタッフは土曜の夜にグージェルミンのエンジンを交換、冷却系に変更を施すため作業は朝4時まで続いた。

グージェルミンはこれに答え、終始冷静なレースを展開。ポイントには結びつかなかったものの、11位で完走した。

エディ・ジョーダン氏は「トラブル続きの2日間の後でのこの結果は勝利に等しい」とこのレースを高く評価。ヤマハの木村リーダーも「共同作業は始まったばかり。ジョーダン同様、われわれも高い目的意識を持ってやって行きたい」とコメント。

また完走を果たしたグージェルミンは、「僕自身のためにも、チームのためにも完走できて良かった」と話している。

pon Shinpan Nippon Shinpan Nippon Shi



GP250クラスはサイティングラップの後、ライダーの意見は全員一致で「中止」となった



## 豪雨のため中止 ■全日本ロードレース選手権シリーズ 第1戦/MINEインターナショナルロードレース大会

1992年度の全日本ロードレース選手権は、3月15日、山口県のMINEサーキットで開幕を迎えたが、決勝前夜から降り続いた雨のため、GP125CCクラスを除く3クラスが中止となった(125CCクラスは周回数を9ラップに短縮)。

決勝当日、コース上に水がたまり、主催者はレース進行を遅らせ状況を見守った。一時コンディションが回復し、125クラスは開催されたものの、250CCクラスはフリー走行後のミーティングにおいて、実施は危険との判断から全員一致で中止が決定。ITF1クラス、500CCクラスも同様に中止となった。

このため事実上の開幕戦は、4月12日筑波サーキットでの第2戦となった。

### ●AMAスーパークロス

#### 第6戦/アトランタ

- ①D・ブラッドショー ②J・M・ベイル ③M・ラロッコ  
④M・キドラウスキー ⑤J・スタントン ⑥J・マタセビッチ

#### 第7戦/デイトナ

- ①J・スタントン ②D・ブラッドショー ③J・M・ベイル  
④J・ラロッコ ⑤M・キドラウスキー ⑥D・デュバック



ファミリーは大陸ツーリング!!  
ツーリング派新婚カップルの夢  
Y.E.S.S.のツアーで実現

近藤邦秋さん(35歳)  
朋子さん(22歳)  
No.11701141103091001  
No.11701141103091017  
所有車:FZR1000他 登録店:YSP茅ヶ崎





「想像以上に広がった」と口を揃えて語る近藤さんご夫妻。一生思い出に残るハネムーンとなった



ライダーの中には「いつか日本を飛び出して、大陸の地平線を目指したい……」こんな夢を抱いている者は少なくない。しかしながら、資金、宿泊、バイクの用意、ルートなど、憧れの大陸の前には数多くのハードルが待っているのが現実だ。

このような海外ツーリングのハードルを低く、越えやすくしてしまおう、こんな企画がある。ご存じの「JAL/YES スーパー

ツーリング」である。憧れの大地を気軽に、不安なく——横浜市に住む近藤邦秋さん・朋子さんご夫妻も、この2月に「JAL/YES スーパーツーリング」で永年の夢を実現させた。それも新婚旅行という形で。

「かなり以前から、仲間同志でオーストラリアツーリングを目指していたんです。絶対に行こうな、って貯金もしていました。ただ仲間はだんだんと熱がさめてしまったみたいで、以来、自分の心の中で温めていたんですよ。」

オーストラリアツーリングのプランが現実味を帯びたのは、彼女との結婚の話が出てからです。彼女が北海道をソロ・ツーリングで3週間も走ってくるような旅好きでね、それなら新婚旅行はオーストラリア・ツーリングだと自然に決まったんです」

新婚旅行の形は決定した。しかし出発日の日程が結婚式の日取りと一致しない。結局、近藤ご夫妻は新婚旅行の日程をずらしてツアーに参加した。

着いたオーストラリアでは、邦秋さんがFJ1200、朋子さんがFZR600のグリップを握った。ツーリング初日に約200キロ、2日目と3日目には合計1000キロあまりを走破。1週間のツアーではトラブルもなく、大陸のハネムーンを満喫した。

「オーストラリアに憧れた理由のひとつが、『広大さ』だったんです。実際に走ってみると……いやあ、想像していた以上に大陸は広く、大きかったです。ツーリング前にコースを地図で確認するでしょう、地図上では『これっぽっち』って思っていたけど、広い、広い。どこまで走っても行き着かないんですから。もう、大満足ですよ」と邦秋さん。

「地平線まで道がまっすぐ伸びているんですけど、しかも緩やかな起伏が連続しているの、地平線を越えたと次の地平線が彼方に見えるまでね、映画の『マッドマックス』の世界そのままでしたよ、新婚旅行には最高でしたね」とは朋子さんの感想だ。

近藤さんご夫妻をはじめ、お客さまの海外ツーリングをバックアップしている水沢昇店長も、近藤さんご夫妻のツーリングの報告には大喜びです。

「日本だけでは視野が狭まってしまふ。若いうちに日本を出て、環境の差や文化の違いを肌で感じとってほしいよね。バイクはそのためのいい手段だし、『JAL/YES スーパーツーリング』は便利だと思うよ」

YSP茅ヶ崎では、近藤さんご夫妻に続いて、お客さまの一人がオーストラリアのソロツーリングに旅立つ。水沢店長をはじめスタッフ、お客さまの中にはこうして『夢』を暖かく見守る雰囲気満ちている。ライダーの夢を迎え、育てることもお店のイメージ作りが大きく役立つと言えるだろう。



良き理解者の水沢店長。「もっとたくさんのライダーに参加してもらいたい」と語る



# フレッシュアップはお店の新陳代謝

## リニューアルと遊び心、10周年を迎えて再出発

**YSP豊橋南** 愛知県豊橋市曙町字南松原98-2 ☎0532-48-2618

クリーンと再出発の機会  
これがリニューアル効果

「外装が汚れちゃってね、まるでユレイ屋敷のようになっていたんだよ」

こう話の口火を切ったのは「YSP豊橋南」加藤静利社長だ。

オープン10周年を迎えた今年、加藤社長はお店のリニューアルに挑戦した。今回は「鮮度」満点の「YSP豊橋南」さんにおじゃました。

店舗は新幹線の停車駅でもある、「JR豊橋駅」からクルマでおよそ15分ほどの距離にある。

周辺は街道を中心に商業地域と住宅地域が混在したような感じだ。国道1号線にも連絡するというお店の前の道路は、上下各1車線の狭い道ながらクルマの流れが絶えることはない。

加藤さんがここにお店を出したのが10年前。今年34歳になるという加藤さんは飄々とした表情で「近所の兄い」といった印象を受ける。とても30代半ばには見えない。若いのだ。今でこうなら、10年前なんて……。

加藤さんの10年前の話。

「僕はね、もともと地方公務員だったんですよ。地下鉄の職員でした。穴倉の職場から脱サラして始めたのがこの店なんですよ」

お店は借金を重ねて自分の土地、自分の店舗で始めた。ほとんど暇なく働いて、軌道に乗ったのはつい最近の話と加藤さんは笑って言う。

がむしゃらに10年を戦ってきた加藤

さん。ふと振り向くと、そこにはともに戦ってきたお店が10年分のやつれを全身にあらわして建っていた。

「10年ひと昔って言うでしょ。気がついたら店全体が汚れて汚れていた。店主は毎日店にいるから気がつかないけど、たまに来るお客さまは気になるだろうなって思っていますね」

スポーツ店をはじめ、他業種のお店は数年に一回はリニューアルでイメージの刷新を図っているのではないかと、加藤さんはこう気づいた。リニューアルはクリーンなイメージを保つ効果のほかにも、お店の再出発でもある。

「リニューアルは、停滞したイメージを打ち破るいい機会なんです。再出発で話題づくり、お客さまにはいい訴求になりますよ」と加藤さん。

10周年を契機にとりかかったリニューアルでは、まず汚れていた外装の貼りかえを行なった。建物横に設けられていた展示スペースにも新たに床を貼った。

内装関係では、やはり床の貼りかえを中心に手を入れている。明るい色調をとり入れ、店内は爽やかなイメージに刷新された。

「今回のリニューアルでは、内装の壁紙にまで手が回りませんでした。壁紙の変更は来年。片手落ちと言われるか



ウェアに限らず、用品は数多く展示



床は明るさを演出。汚れにくいものを選んだという



花や観葉植物は、新鮮さの演出に大きな役割りを果たしている

もしれませんけど。逆にフレッシュアップの機会が2度になったと考えればね、一粒で2度おいしいんじゃないですか、ハハハ」

商売を長い間続けると、店主とお客さまは馴れあつてしまう。お客さまに新鮮なイメージを持ってもらうため、話題づくりの一环としてリニューアルは効果があると言える。

### お店の鮮度は季節ごとの模様替えから

お店のイメージの刷新は、しかしリニューアルだけではないと加藤さんは考えている。お店の「鮮度」は日常から心を碎かなければならないのだ。「店内の模様替えは季節ごとに行なう

ようにしています。とりたててテーマは決めないけど、季節ごとにお客さまがいい気持ちで入れられるようにね」

「YSP豊橋南」さんは約30坪のショールームを持つ。暑い盛りにはできるだけ涼しく見せなければならぬ。逆に寒い季節は温かく見せる工夫が必要。

まだまだ寒さが残る取材日、店内を見回すと暖かなウェアが入口近くまでディスプレイされていた。小物を置く台も、店内中央に置かれている。

「ウェア類を前に出して、店内のタイト感を出しています。タイト感ほうまく演出すれば温かみとして印象づけられますからね。逆に夏はスペースを開けて、オープン感を出しています」

広い店内も、寒い冬には殺伐と映っ

てしまう。種類豊富に取り揃えた用品も、夏には雑然と感じる。暑さ寒さ…温度は肌で感じるだけでなく、視覚でも感じるのだ。心地よく入りやすいお店を演出するには忘れてはならないことかもしれない。

### 飽きられないために遊び心の提供で話題づくり

加藤さんの話を聞いている間、テールブルに掲げられたインフォメーションボードが気になっていた。ボードにはさまざまなイベントの写真、例えばスノーモビル、スキー、マリッジエッグト、パーティ…なかには綱引きの写真さえある。

「ウチはね、イベントを多く開催して

リニューアルは停滞したイメージを打ち破るいい機会  
 再出発で話題づくり、お客さまには大きな訴求となる



オートバイにこだわらない遊びも盛ん。特にスキー&スノモツア  
ーは人気イベントだ

# バイクショップは飽きられないように遊びという話題を提供していかなくては



ちょっとした遊び心がショップの雰囲気盛り上げる



2月22日、23日にはオープン記念イベントを開催。ワークスマシン展示や  
Y.E.S.S. キヤルとの記念撮影やゲームで賑わった

います。今の若い子はね、バイク命じやない。サーフィンもやる、四駆にも乗る。バイクも趣味のひとつなんです。そんな子たちの心に訴えるにはバイクのイベントだけじゃ物足りなく思われてしまう。常連客を離さず、そのうえ新しい顧客をつかむためにも遊びの提供は大切ですよ。

いろいろな遊びを提供することで、お客さまは常に新鮮なイメージを持ち続けることができる。しかしイベントの開催はお金も必要なのは……？

「そんなことはないよ。例えばウチで毎年開催しているクリスマスパーティー。お客さまをたくさん呼ぼうとすれば大きな会場が必要でしょう。でも大きな会場は費用も莫大です。なんとかお金

がからない方法はないかと考えた末にね……」

大人数のパーティーを格安に、しかもグレードは落とさず。この難問を加藤さんは見事に解いて見せた。

「大きな会場でクリスマスシーズンに暇な所はないか。そうしたらね、ふと思いついたんですよ。結婚式場はどうかってね」

さっそく連絡をとった結婚式場は、あんのじよう暇だった。パーティーの話を持ち出すとすぐさまOKの返事が来たそう。しかも費用は格安。

「要は、アイデア次第なんです。お金をかけず、アイデアで楽しませる……」

アイデアと言えば気になったものがあつた。ショールーム内、さまざまな用品に混じって、コーナーの一角になんと駄菓子置いてあるのだ。オートバイショップに駄菓子……なんとも不思議なお店だ。

「これは冗談から生まれたようなものですよ。お客さまとの話のなかで、そう言えば……」ってことになって。話題づくりになるし、なんととっても安いんですよ。卸問屋で5000円も出せば1コーナーが埋まるほど買える。遊び心っていうと豪華な話になりやすいけど、お金をかけなくても遊びの雰囲気は演出できるんですよ」

「スポーツを幅広く扱うスポーツ店と違って、オートバイショップは飽きられやすい。なんとか飽きられないように話題を提供していかなくてはね」加藤さんはこう話す。

お店の鮮度を保つためには、ディスプレイの変更やリニューアルが大きな武器となる。そしてバイクとは別な部分での、遊び心も有効な手段なのだ。長い商売では、お店は水々しさも薄れよう。色だつて褪せてくる。

お客さまにいつも新鮮な話題を提供する。フレッシュアップへの心配りでは、経営の停滞とは無縁だ。店舗経営は常に新陳代謝を必要としているのかもしれない。



(左から) 坂口さん、奥さまの桂子さん、加藤社長、サービスの赤沢さんと朝倉さん

ハロー・ナイスショップ  
**Hello**  
 NICE SHOP



■YSP豊橋南

JR豊橋駅から南に5km程に立地。周辺は店舗がオープンして数年後から、商用地として急激に発展した。間口の広い店舗は交通量が多い店舗前の道路からもよく目立つうえに、高くかけたヤマハの看板が、遠くからでも店舗の位置を確認しやすくしている。オープンスペースは駐輪スペースを残しており、また四輪の駐車場も隣の敷地に確保している。

- オープン：昭和57年2月、昭和59年3月にYSP店となる
- 店舗規模：100坪の敷地に60坪の建物。うちショールームスペースは30坪強、サービススペース15坪、残りを部品庫
- 展示台数：ショールーム内に3台のスポーツバイク、オープンスペースに新車スクーター40台、スポーツバイク14台を展示
- 商圏：スクーターは国道1号から南を中心に半径約2km以内。スポーツバイクは市内全域を含め、岡崎、浜松方面など広範囲。県外からの来客もある
- 客層：23-40歳のサラリーマン層が中心
- クラブ：レディスクラブ「ジェラード」、レーシングチーム「チーム・フルバンク」男性のみのツーリング(名称なし)もある
- 営業時間：午前10時-午後8時 ●定休日：毎週月曜日



採光が良いうえに室内灯も十分に明るいショールーム



空間を重視したショールーム内の展示

店内とは反対に、オープンスペースには車両がずらりと並ぶ



用品の向う側はユーザースペース

# The Latest A/D



- 上の写真は、3月中旬から4月にかけて全国一斉集中放映を展開している、ヤマハスクーター・ジョグのテレビCFロケ風景です。
- '92年のジョグキャラクターとして活躍しているのは小林聡美さん。10年前に大評判を呼んだ映画『転校生』でデビューした彼女は、明るく活発な役柄を得意とする注目の演技派女優。
- 今回のCFも、小林さんならではの個性を活かし、コミカルでハイテンポな構成で、ジョグの元気良さと魅力を100%アピールします。
- 店頭で、お茶の間で、どうぞこの春もヤマハスクーター・ジョグへのご声援、よろしくお願いいたします。

**YAMAHA**  
ヤマハ発動機株式会社